

# 森林クレジット 1000トン調達

## 商工中金 Jクレ 預金満期に付与

商工中金は温室効果ガス（GHG）排出削減量や吸収量が付与される定期預金「Jークレジット預金」の満期に向け、1000トンの森林由来クレジットを調達した。Jークレジットを付与する預金としては国内で初めて1月に募集していた。調達先は全国7社・団体で、預金者は2026年3月の満期日に利息とともに、カーボン・オフセットとして活用できるクレジットを受け取る。

クレジットは、北海道（北海一市）、中国木材（広島県一長は、「商工中金の取道庁、秋田県林業公 呉市）から調達した。り組みをきつかけにJ社、栃毛木材工業（栃木 預金の募集総額は10 ークレジットへの引き県鹿沼市）、江間忠ホ 0億円で元本5000 合が増えれば」と、ールディングス（東京 万円に対し5ト分のオ 森林由来クレジットが都中央区）、中江産業 フセットを付与する。 注目されることを期（大阪市中央区）、須 200トを供出した  
山木材（島根県出雲 中江産業の中江康男社 中江産業が京都府綾部市に所有する山林



待。同社は全国の国土面積の約6000分の1に当たる6458

の山林を所有し、全域で森林整備を続けているが、急峻な立地が多くコストがかさみ「収支はトントン」と中江社長は打ち明ける。改正GX（グリーン・トランスフォーメーション）推進法により26年度から大口排出者に参加を義務付ける排出量取引制度がスタートする。同社では年1・5万ト2万トのクレジットが創出されるが小口需要が多く取引も安定していないのが実情。中江社長は「マーケットがどうなるか見定めたい」と話す。